

軍令部部長

自主的ニ行動スト云ウテモ、愈々ヤル場合ニハ同盟ノ

諒ニ依リ相談ノ必要アリト思フ。宣戰ハ即時武力發動シ
得ケレバヤラスト思フ

(次長ハ、右ハ次長カ極端ニ言フタノヲ幾何緩和シタモノト感取
ス)

外相 陸海軍案ニ對シテハ根本的ニ意見アルカ面シ大體ニ於テ

同意テアル

武備軍務局長 ソレナラソレヲ審イテ出シテ矣レ

外相 審イテハ出サス

六月二十七日第三十四回閣連絡懇談會

情勢ノ推移ニ伴フ帝國國策要綱ノ件

一、出席者 前同ニ同シ

二、陸海軍案ニ對スル政府側ノ質問ヲ以テ終始ス

三、外相自己ノ考ヘアル外交計畫ヲ説明シ、大本營側ノ再考ヲ求ム

外相ノ外交ノ見地ヨリスル判決ハ、獨「ソ」戰ニ直ニ參戰ノ決意
ヲナシ、先ツ北ヲヤリ、次テ南ヲヤリ、此ノ間支那事變ヲ處理セ
ントスルニ在リ

外相大本營案ニハ概ネ同意ナルモ、直ニ參戰ノ決意ヲナス點ニ於
テ相違アリ

輿論議ノ概要左ノ如シ

外相

大島ヨリ意見具申數回アリ。其ノ要旨ハ、帝國ノ方策ハ相當難シイト思フカ獨「ソ」戰ハ短期ニ終ル、秋又ハ本年中ニハ獨英戰ハ終ル、過度ニ形勢ヲ觀望スルハ不可ナリト云フニ在リ

我輩ハ夙ニ外交作戦計畫ヲ立案シ、其後モ之ニ就キ想ヲ練ツテ居ツタノテアル。獨「ソ」戰發生ノ公算ハ二分ノ一ト考ヘテ居ツタ所今日既ニ發生セリ。

昨日ノ大本營案ニハ藏ネ同意ナルモ、外交ノ見地ヨリ若干意見アリ。左ニ從來ヨリ考ヘアル所ヲ述フヘシ。

全面和平ノ爲重慶トノ直接交渉ハ見込ナシ、從ツテ大キク包圍シテヤル要アリト判斷シ、「ソ」トモ中立條約ヲ

造リ、獨ニ對シテハ頼ミハシナカツタカ之レト手ヲ握リ唯殘ルハ米國ノミトナツタ。ヨツテ米國ニ對シ滯歐中參戰阻止援蔣中止ヲ趣旨トスル個人「メツセージ」ヲ出シタ。歸京後米國ノ返事ヲ見タ所、本職ノ考ヘト違ツテ居ツタ。變ナモノニナツタノハ中間ニ人ガ入ツタカラダ。

數日前米國カラ返事ガ來タガ實ニ妙ナモノダ。勿論支那事變ヲヤメレバウマク行クカモ知レスガ夫レハ適當デハナイ。結局最後ニ米國ツツカム事ニ狂ヲ生シタ。

今ヤ獨「ソ」戰カ惹起シタ。帝國ハ暫ク形勢ヲ觀望スルトスルモ、何時カハ一大決意ヲ以テ難局ヲ打開セネハナラス

獨「ソ」戰ガ短期ニ終ルモノト判斷スルナラハ、日本ハ
南北何レニモ出ナイト云フ事ハ出來ナイ。

短期間ニ終ルト判斷セハ北ヲ先キニヤルヘシ。獨カ「ソ」
ヲ料理シタル後ニ對「ソ」問題解決ト云ムテモ外交上ハ
問題ニナラス

「ソ」ヲ迅速ニヤレバ米ハ参加セザルヘシ

米ハ「ソ」ヲ助ケルコトハ事實上出來ス、元來米ハ「ソ」
ガ嫌ダ、米ハ大體ニ於テ參戰ハセス、一部判斷違ガアル
カモ知レヌガ

故ニ先ツ北ヲヤリ南ニ出ヨ

南ニ出ルト英米ト戰フ、佛印ニ進出スル事ニ就テハ、ト

モスレバ英米ト戰フコトニナルカモ知レヌガ、二週間ニ
亙ル軍調ノ説明ニ依リ佛印進出ノ必要性ハ能ク分ツタ。

「ヤケクソ」ニヤルワケデハナイ

「ソ」ト戰フ場合、三、四月位ナラ米ヲ外交的ニオサヘ
ル自信ヲ持ツテ居ル

統帥部案ノ如ク形勢ヲ觀望スルト英米「ソ」ニ包圍セラ
ルヘシ

宜シク先ツ北ヲヤリ次テ南ヲヤルヘシ。虎穴ニ入ラズン
バ虎子ヲ得ズ。宜シク斷行スヘシ

（右外相ノ發言間、軍令部總長ガ「昨日獨「ソ」ニ米ガ
入ルト云ヒシモ米國カ入ラス様外交ヲヤツテ吳レ、三國

同時作戦ニナラス様外交ヲヤツテ呉レト云ウタノテアル
ト評明シタルニ對シ、外相ハソレナラヨシト述フ

支那事變トノ關係如何

昨年幕迄ハ南ヲ先キニ次テ北ト思ツテ居ツタ。南ヲヤレ
バ支那ハ片付クト思ツタガ駄目ニナツタ。北ニ進ミ「イ
ルクーツタ」迄行ケバ宜シカルヘク、其ノ半分位テモ行
ケバ蔣ニモ影響ヲ及ボシ全面和平ニナルカモ知レヌト思フ

事變ヲ止メテモ北ヲヤルノ可ト思フカ

或ル程度迄止メテモ北ヲヤルヲ可トセン（輕イ意味ニテ
云フ）

支那事變ハ額イテ解決セサルヘカラス

海相

世界戦争ハ十年ノ問題タ

此ノ間ニ支那事變ハツツトブ

此ノ間ニ北ヲヤルガ宜シイ

外相

我輩ハ道義外交ヲ主張スル

三國同盟ハ止メラレス、中立條約ハ始メカラ止メテモ宜
カツタ。三國同盟ヲ止メテ云々ナラ取ラス。利害打算ハ
イカン。獨ノ戦況未タ不明ノ時ヤラナケレバナラス

内相

松岡サン、當面ノ問題ヲ能クオ考ヘナサイ。アナタノ御
話ハ直ニ「ソ」ヲ打テト云フノカ、國策トシテ直ニ「ソ」
ト開戦セヨト云フノカ

外相

然リ

内 相

今日ハ事ヲ急イテヤラネハナラス、而シ備ヲ充分ヤラ
ハナラス

外 相

兵力使用ト云フモ準備ヲ要ス、國策實行ニモ準備ヲヤラ
ネハナラス、即チ先ツ準備ヲヤル必要カアルノテハナイカ
我輩ハ北ヲ先キニヤルコトヲ決メ之ヲ獨ニ通告シタイト
思フ

參謀總長

道義信義外交ハ尤モナルモ現在支那ニ大兵ヲ用ヒツツア
リ、正義一本モ宜シイガ實際ハ出來ス

統帥部トシテハ準備ヲ整ヘル、ヤル ヤラスハ今決メラ
レス

關東軍ダケデモ準備ニ四、五十日ヲ要スル、今ノ兵力ヲ

外 相

戰時編制トシ更ニ攻勢ヲ取ルタメニハ又時日ヲ要スル。
獨「ソ」ノ狀況ハソノ頃判明スヘシ。ソレテヨケレバ起
ツノダ

極メテ有利ノ「極メテ」ハ嫌ダ、「ソ」ヲ打ツト定メラ
レ度

參謀總長

イカン

軍令部總長

相當大キナ問題故統帥部モ考ヘ様

外 相

大體此ノ前ノ統帥部案ニ異存ナシ。但シ我輩ノ意見ヲ入
レルカ入レスカ

參謀總長

外交ヲ之ニ加ヘ様

外 相

ソレテハ最後ニ、「之ニ即應スル様外交交渉ヲ行フト」

入レレバ宜シイ

外交ヲヤレト云ウテモ米トノ工作ハ之以上積カヌト思フ

内相 獨ニ對シテハ三國條約ヲ基調トシテト入レラレ度

六月二十八日第三十五回連絡懇談會

國策要綱、對獨通告文等ニ關スル件

一 出席者前回通り

二 陸海軍案ニ對スル主トシテ外務大臣ノ修文意見ヲ討論シ、概ネ大本營案通り意見一致ス

之ヨリ先本日午前、兩軍務局長、外相及外務次官等ト折衝シ、大本營案ニ外交ニ關スル事項ヲ特ニ含メタル一案ヲ作成シアリ

決定案ハ右成案ノ要領ニニ「對佛印、泰施策要綱及」ヲ挿入シタルニ逃キサルモノトス

三 外相先ツ方針第三ノ如何ナル障害ヲモ排除ストアル中ニハ、外交手段ニ依リ排除スルノ意ヲモ含ムモノト解ス、又要領三ノ三國條